

元学生の寅さん同様の優しさに、(;_;)…

元学生から、久しぶりに次のようなメール（抜粋）が届いた。

【 ご無沙汰しております。

確か、ご退職後、「男はつらいよ」全作品を観られたというように伺っておりましたが、先日の朝の情報番組を見られましたでしょうか。

落語家が、惜しまれて亡くなられた人々の生き方を紹介するというもの。

今日は、渥美清であった。

25年以上にわたり個人的に親交があり、「小諸のお父さん」と呼んでいた電気工事店主の話が紹介された。

特に、渥美清が怒った出来事が、印象に残った。それはお酒の席で、自分の息子は障がいを持っているから…と溢した時のこと。

渥美清は、「父親として、息子さんを一人の人として見なくてはいけないじゃないか」と物凄く叱責されたのだという。

落語家は、渥美清という人は誰でも平等という考え方を貫いていたと強調されて話していた。

その後、「『男はつらいよ』に関わる台本、写真などの資料を譲るから記念館を建てればいい。息子さんが館長となれば、生活の支えになるだろう」という申し出があったという。

そして、12年前、渥美清こもろ寅さん会館として、長野県小諸市にオープンしたとのことだった。】

6年も前のHP記事（「雑学BN」の随想等関係（I）P、2001.12.24.「寅さんシリーズ、映破！」：参照）を覚えていてくださり、渥美清に関する情報をわざわざ教えてくれるなんて、この元学生の寅さん同様の優しさに(;_;)…。

葛飾柴又にある寅さん記念館をいつかは訪ねたいとずっ～と思い続けているが、さて、いつになったらこの夢が叶うやら……(^_^;)